

2020年6月16日

関係各位

株式会社ウィッツコミュニティ

代表取締役 村松 圭

ウィッツグループホールディングス株式会社

代表取締役 柴田 正隆

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後の追加処置について

(Ver.6)

平素は弊社業務に多大なるご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる緊急事態宣言発令を受け、4月7、8、14日、5月12日に弊社における対応をお伝えしてまいりました。緊急事態宣言解除となりましたが、上記対応の想定と実際の業務遂行に隔たりがあり、一部の運用を変更ならびに追加の処置を行いましたのでご報告申し上げます。

この一連の対応によって、万が一、新型コロナウイルスに罹患するスタッフが出た場合、社内に濃厚接触者（国立感染症研究所指針）が居ない状況をつくります。今後もスタッフ及びその家族、取引先の皆様の健康、命を守る処置として、感染拡大防止に於ける企業の社会的責任と自覚し、厳に継続して参ります。

【通勤に関して】（追加処置あり）

弊社スタッフに対し原則公共交通機関の利用は禁止。

ただし、業務上やむをえない場合には、上長の承認を得た上で時差出勤、並びに十分な防御処置をした上で出勤することを許可する場合があります。

出勤スタッフのマイカー通勤許可、公共交通機関の利用は時差出勤で調整。

【リモートワーク管理に関して】（変更なし）

営業職・事務職の移動時連絡はSNSを活用し、全社共有化。また行動エビデンスとして活用。スタッフ一人一人の接触履歴もエビデンスとして残します。これは、コロナ対策として社会的責任も果たす目的でもあります。

【各ブランチの対応について】（変更なし）

当初、東京支店1名・横浜営業所0名・西門オフィス(コールセンター業務兼務)6名で運用を開始いたしましたが、想定以上の入電があり、対応を以下に変更いたします。

※東京支店1名・横浜営業所0名・西門オフィス(コールセンター業務兼務)7名・ビル事業部1名・ホールディングス2名。合計11名のみ。政府が要請する7割の出勤者の在宅勤務に対し、弊社においては事業所勤務者合計96名、うち出勤は11名となり8割以上は出勤をしない形で勤務できる体制を組んでまいります。

【リモート会議について】（変更なし）

- ① それぞれ部門（部単位）ごとに9時・17時30分に朝礼・夕礼の実施。
- ② 13時30分から、各部門長と事務スタッフの「事務ミーティング」の実施。
- ③ 事務の共有ミーティングを全部門の事務責任者参加の上、毎月曜日15時よりリモート会議で実施
- ④ そのほかISOに定められる会議一覧はすべて、リモートにて実施

今後も引き続き、改めて変更、追加処置が発生した場合は速やかにご報告いたします。

【外出時のコロナ対策に関する取り組み】（変更なし）

当社社員が外出する際、移動時の連絡、訪問先、面談者の全てを遅滞なく報告し、訪問、接触の履歴を残します。面談等の際にも、換気、マスクの着用、ソーシャルディスタンスに留意し、濃厚接触の定義に触れない形を作ります。

【事業所のコロナ対策に関する取り組み】（変更なし）

事業所内は常に換気し、各デスクに次亜塩素酸水の設置し、ビニールパーテーション、衝立、フリーデスクにて社員間の距離を保ちます。

【接触感染防止の取組】（追加処置あり）

社内に於けるファイル等の共有によるスタッフの接触感染を避ける為、時間単位の定期的な手、指の消毒を事務所勤務者に義務付けました。

事業所内の接触感染予防策として、非接触スイッチへの交換、非接触ドアノブへの交換を進めています。

【会議室の使用制限】（変更なし）

会議は基本、パソコンの slack などのテレビ会議システムにて実施しております。

どうしても面談が必要な際は本社、支店、営業所の会議室を利用します。

会議室利用については通気、換気の徹底、使用時間の制限、ソーシャルディスタンス確保の為の人数制限を設けました。

【営業スタッフの事業所の入室利用制限】（変更なし）

社員番号で奇数・偶数に分け、午前のみまたは午後のみ入室可能としております。

【社用車の使用制限】（変更なし）

車両使用時の乗員制限を設けております。できるだけ1名で乗車。3名以上は禁止。2名乗車の際は、運転席の斜め後ろに座り、窓を対局で開放して通風。会話の際はマスク着用厳守としております。

【次亜塩素酸水の携行実施】（追加処置あり）

4月末より営業車の車内に次亜塩素酸水を設置いたしました。

弊社管理物件に次亜塩素酸水を設置いたしました。

【相模原市へのマスクの寄贈】（追加報告）

医療従事者の皆様に感謝の意を込めて、現場で活用いただけるよう相模原市にマスク1万枚を寄贈しました。

高齢者並びに高齢者サービスたる介護事業等へ従事する方々に進呈したい旨をお伝えました。寄贈式には本村市長 隠田副市長らにもご出席いただき、有効にご活用くださるとのお言葉も頂戴できました。

以上